

令和 6 年 4 月 22 日 小方まちづくり特別委員会 議事録
10時00分 開会

○出席委員 (8 人)

委員長 小田上 尚典

副委員長 細川 雅子

委員 中野 友博、豊川 和也、小出 哲義、末広 天佑、藤川 和弘、
中川 智之

議長 北地 範久

○欠席委員 なし

○小田上委員長 皆さん、おはようございます。定足数に達しておりますので、ただいまから小方まちづくり特別委員会を開会します。

それでは、日程 1、小方まちづくり調査項目についてを議題といたします。

まず、議題に入る前になんですけども、前回の振り返りをしておいて、今日何をしていくかというのをしっかり頭に置いてから進めたいと思いますので、今日のフォルダーの中の 3 月 29 日まとめというものがありますので、そちらを見ていただいてもよろしいでしょうか。

今日はそれぞれ発言する機会あると思いますけど、着座のままで結構なので。お願いします。

前回の振り返りとして、日程 1 で今後の活動についてというものをやりました。

活動についてはいろいろ御意見いただいて、ちょっと主な意見ということで抜粋で、こういうこと言ったのになと、載ってないところもあると思いますが御容赦ください。それぞれいろいろ意見いただきまして、決めたところを見ていただきたいと思います。

矢印下の四角の囲み 2 個目のほう、中央の辺り、活動方針についてです。

今後の、今日のところにも関わってきますけども、旧小方小・中学校跡地だけでなく、小方地区のまちづくり基本構想を含めたまちづくり全体の取組を扱っていきましようというところを決めていきました。そして、小方地区のまちづくり基本構想の方向転換大きなものをするのではなくて、時代に合わせた微修正を行いましようという決定を皆さんのほうでしていただいております。

これも今日の内容に関わりますが、直近の活動内容については、小方地区のまちづくり基本構想、先日議員全員協議会で示された資料を基に、もう一度疑問点を洗い出してみましようというところ。

今日、この次に上げている 3 点。執行部から聞き取りしていく事項、委員会独自で調査していく事項、この 2 つに大きく分けられるかなと思います。皆さんの出された質問を分ける作業ですね。一応、皆さんそれぞれ解説いただきながら、どちらかに振り分けていくという作業をしていきたいと思います。その中で、予算化されているものや執行されている事業についてというところは、連続して見ていかないといけないかなと思いますので、

さらに小さく分けていくというところ。

その区分けができましたら、ある程度のスケジュール感を今日ざっくりと決めて、次回に具体的なものをお示しできればというふうに思っております。

そのスケジュール作成に取りかかるところも、月 1 回程度は基本的には行って、必要に応じて開催。月 1 回程度なんですが、スケジュール感を決めていく中で、これからの任期、常任委員の改選とかもありますので、約 1 年をめどに行っていきたいというところですよ。

活動成果の考え方について、皆さんになかなか成果物として何かを提出するということが難しいかもしれないという話はさせていただいて、前回の会議では、政策とか提案、こういうものを提出することが目的ではなくて、まずは小方のまちづくり、いろんな道の駅とか A、B、C、D の区分け、そして小方新駅といろいろあります。市民に説明できる材料をしっかりとっておこうと。自分たちの疑問点を晴らしておこうという話になりました。

そういう辺りで、日程 1 は決まりました。

日程 2 では、道の駅等いろんなところで、いろんな項目についてワークショップを開いたり、市民の意見を聞く場を設けたいというようなお声もいただきました。

これが、前回の会議の内容です。

それでは、今日の項目に入っていきたいと思います。

3 つ、E x c e l のデータでシート分けしてありましたので、まずは小方地区のまちづくり基本構想についてを質問出された方に少し補足いただきながら説明いただけたらと思います。加えて、事前に執行部のほうとも少し協議をしまして、これは回答できるかできないかというところは、全く物事が進んでないので答えられませんみたいなネガティブな方向じゃなくて、何も進んでなくてお伝えできないことがないというようなことに関しては事前にいただいています。その辺りの報告はさせていただこうと思いますが、あえて聞いておきたいということを入れておいていいのかなと思いますので、まず補足で御紹介いただいて、この 3 項目、1 つ項目が終わるごとに執行部に聞くか、委員会独自の調査かというのをまとめていきたいと思います。

すみません、それでは振り分けてある上から発言いただいてもよろしいですかね。

小方地区のまちづくり基本構想についてでございます。

藤川委員。

○藤川委員 よろしく願いいたします。

私は 2 点ほど、ちょっと疑問点書かせていただきました。まちづくり基本構想について。このデータ全て数字が古いというか、それが一番気になりました。

やっぱり今から駅ができる、道の駅ができるというのは数年後、想定できませんけどもせめて 10 年後、20 年後、40 年後、大竹市民のこの人口推移の動きとか、そういう全てのデータですね。全てが古いのかなというのを思いました。できれば、新しくこの人口推移を入れてほしい。もう出てると思うんですね、今出てる範囲でいいので新しく入れてほしい。

それともう 1 点、栄町のぐるりんバス等、もうなくなった路線バスのことも載っていたのかなというふうに思ってます。

2 つ目が、これからのまちづくりに必要なこと、クリアしているもの、今後取り組むも

の、各テーマの具体的な内容なんですけど、これ概要のほうなんですわね。

概要ってここで発信できますかね。

○小田上委員長 概要はホームページにあるものなので、サイドブックスへの発信とかはできないです。

○藤川委員 できませんか、すみません。じゃあ、概要のほうでちょっと言わせていただくと、後々見ていただければいいんですけど、目標として定めているもの、クリアしているものがあればそれを教えてほしいと。今からのまちづくりに対して最優先に取り組むものというか、順番といいですか、もし取り組むものがあったら具体的な内容を教えていただきたいという思いで書かせていただきました。

以上でございます。

○小田上委員長 ありがとうございます。

これ概要の3ページにあるもの、5項目上がってるところですかね。地区の現状と問題点、暮らしやすい生活環境が定住に結びついていないとか、そういうところの現状の整理されているものが欲しいということですね。

1個目が、基本構想の中のデータが古いと。令和4年の改定版はありますが、改定されたところはごく一部なので、基本的なデータの更新作業や、具体的に言うんであれば栄ぐるりんバスが残ってるとか、そういうところを訂正したほうがいいんじゃないかというところでした。

これを訂正ができるかどうかを聞くというところでも大丈夫なんですかね。

藤川委員。

○藤川委員 もし可能であれば、分かっている範囲で新しい数字に入れ替えてほしいかなと思っております。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

この2つ一気に説明いただきましたけど、これに対して不明な点とかあったりしますか。副委員長。

○細川委員 今、この小方のまちづくり基本構想の基本データを新しくしてもらえればということだったんですけども、令和6年3月の予算特別委員会の資料の、岡委員が資料要求した中の小方まちづくりの検討業務の中の26ページですが、この中で、これは道の駅なんで、小方地区まちづくりからしたらちょっと幅は狭くなると思うんですけど、道の駅の基本構想・基本計画をつくる場合に、いろいろ外部環境の整理とか、基本条件の整理とか、多分この間はいろいろ今言われたような人口とか、いろんな客観的な環境が変わってきてる部分を整理していくんじゃないかと思われるんですけどね。そこは私の想像の範囲なんですけど、いや、もしこっちの小方地区のまちづくり基本構想そのものは触らないという話があったときには、もしこっちの構想の中でデータとか手に入るんだったら、議会にもきっちり新しいデータは欲しいというふうに言ってもいいかなと。

直さないと言われたらそれで終わりなんで、でもデータは多分新たに日々執行部の客観的な根拠として持ってると思うんで、それを議会に欲しいというふうにお願いしてもいい

んじゃないかと思います。

○小田上委員長 ありがとうございます。

なので、小方地区のまちづくり基本構想の直接的な改定はしないが、今後、道の駅等の基本構想をつくることに対して、やっぱり最新のデータを使っていくことになろうと思うので、そのデータは公開してほしいという、情報提供してほしいということですね。それを要望したらどうかという御意見でしたね。

藤川委員。

○藤川委員 ありがとうございます。

そうですね、基本構想全部というのはちょっと難しいのかなと今聞いて思いました。新しい数字を提供していただけるだけでも十分満足なんで、ぜひ、お願いしたいと思っています。

お願いします。以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

では、豊川委員ですね。

○豊川委員 よろしく願いいたします。

私のほうからは2点ありまして、前回の会議で疑問を取りあえずぶつけてくれということで、私も承認欲求があるわけじゃないので、ここでちょっと疑問を言ってここで解決するというのかなとかんかんか思ったりもして。今日分かりました、それを執行部に届けるということで。

まず、小方地区のまちづくり基本構想の交通状況について、ここで触れてもいいのかどうかちょっと分からないんですけども、基本構想のときの議員ワークショップの段階で、交通網などがうたわれておるんですけども、岩国・大竹道路、間もなくというかもうすぐめども立ってるので、完成後に現国道2号が過疎化するとこの時点で予測されているんですけども、その状況についても執行部と議論しなければならないのかなと思います。これ議員全員協議会でもそういう意見が出ておりませんでしたので。

例えば、現国道2号が過疎化するんであれば、魅力ある道の駅、もっと道の駅まで行きたいなと思わせるような道の駅を造らないといけないなというのもやっぱり思いますし、交通量が減ることによって道の駅に入りやすいとかいうメリットもあるのかなとか、その辺についても執行部ととことん議論したいなと思います。

これが1点とですね……。

○小田上委員長 豊川委員、ごめんなさい。

今言っていたのは、小方地区のまちづくり基本構想の31、32ページ辺りの議員ワークショップの紹介があって、まとめた表のところのページで大丈夫ですか。

○豊川委員 そうですね、ページもちょっとよく分からなかったの、すみません。私のちょっと理解不足で。どこにこの疑問をぶつけたらいいのかなというのもちょっとよく分からなかったの、この小方地区のまちづくり基本構想についてというところに入れたんですが。

○小田上委員長 基本構想の内容なので、引用としては大丈夫です。ページ数が分かれば大

丈夫です。

○**豊川委員** その議員ワークショップの段階で、こういうのがうたわれているということなので。

あともう1点なんですが、この小方地区のまちづくり基本構想で、オープンハウスというのが行われておりまして、こちらちょっと私も見させていただいたんですけども、ゆめタウン大竹でオープンハウスという、机と椅子をちょっと並べて、議員と恐らくそのときの執行部の方と、あとゆめタウン大竹に来られたお客様、市民の方がそれぞれ意見交換なり、意見をちょっとぶつけられてて、結構な意見が出ておるので、こちらも今回委員でやればいいんじゃないかなと思いました。

以上です。

○**小田上委員長** ありがとうございます。

では、確認したいこと等ありますか。2点まとめて言っていただきましたが。

副委員長。

○**細川委員** これは、お尋ねしたいことは、岩国・大竹道路完成後の交通量の予測を聞きたいのか、ちょっとその辺確認したいんですけど。

○**小田上委員長** 豊川委員。

○**豊川委員** そうですね、予測というか、ある程度もう予測のほうは何かついておるような気がするので、その岩国・大竹道路の完成後について、予測などいろんなパターンなどを議論したいなと思っております。

○**小田上委員長** 議論したい点は、この委員会の中でまとめて議論、こういうふうにしてるんだけどみたいなので何かを投げかけて、それを基に議論というのは、ない形ではないのかなと、あり得るのかなと思うんですが、なので……。

豊川委員、どうぞ。

○**豊川委員** そうですね、恐らく岩国・大竹道路が完成すると、現国道2号については交通量が減少するんじゃないかなとは思っているので、そこら辺、執行部の方がどのように予測されているのか等をちょっとお聞きしたいなと思います。

○**小田上委員長** これが、岩国・大竹道路の交通量の予測というのは、多分国土交通省とかが計画段階でしてるものだと思います。国土交通省のほうから毎年定期的にあるような、岩国・大竹道路についての説明は。毎年ではないですかね。それがあ場合は生活環境委員協議会のほうで、いつも報告がされてます。

なので、その具体的な数字について、市の執行部が持ち合わせているかどうかというところはちょっと不明なんですけど、多分持ってないんじゃないかなと。

お気持ちは分かります。どういうふうを考えられているかと。それは減るであろうというふうな予測が出てるんじゃないかと。そうだとしたら、大竹市はどういう取組をしていくのかというようなまとめ方でいいですかね。

なので、この過疎化というのが交通量が減るんじゃないかという理解で大丈夫ですか。恐らく豊川委員は、基本構想の中でまとめられてる表になってる32ページの中から、言葉そのまま引用されたんだと思うんですよ。多分表の中から引用されましたよね。

○豊川委員 はい。

○小田上委員長 なので、この過疎化というところが、岩国大竹道路が完成して交通量が減るんじゃないかと思われるけども、執行部はどういう考え方を持っていますかという辺りですかね。

○豊川委員 そうです。

○小田上委員長 であれば、減るかどうかなというのも実際分らないですけども、今想像で。渋滞を減らすためのバイパスですからね。

なので、そういうところをちょっとどういうふうに思ってるか聞いてみたいという理解でいいですか。

これについてはよろしいですか。議長、何かありますか。大丈夫ですか。このことについてとか。

議長。

○北地議長 恐らく、これは国土交通省のほうで数字を持つと思うんで、執行部のほうから国土交通省にお伺いすると。それについて、執行部の考えを聞くということでもいいですね。そういう流れで。

○小田上委員長 豊川委員。

○豊川委員 執行部のほうからも聞いていただきたいですし、我々のほうからも国にとことん聞いてもいいんじゃないかなと思っております。

○北地議長 それは一応執行部を通じてやるのがマナーというか、流れになつとるんで、取りあえずは聞いてもらって、それでも分からないときには追加で聞くとかいうのは可能性はあると思います。

○小田上委員長 なので、国の予想してるところのヒアリングと、それに対する市の取組というところかなと思います。

1 個目はよろしいですか。

じゃあ、2 個目。オープンハウスをというところですけども、こちら何かございますか。中野委員。

○中野委員 すみません、豊川委員にちょっとお伺いさせてください。

そのオープンハウスのイメージ、どういう意見を求めたいのかというイメージをもうちょっと教えてもらったら助かります。

○小田上委員長 豊川委員。

○豊川委員 そうですね、こちらオープンハウスもあるんですけども、小方小・中学校跡地活用に関する御意見とか、交通状況についてとか、新駅に関する御意見とかなど、その他もろもろお聞きできたらいいんじゃないかなと思っております。

○小田上委員長 中野委員。

○中野委員 ありがとうございます。

私も、市民の皆さんの声聞くってとっても大切だと思うんですけど、その意見を基に執行部に何を伝えるのかというゴールまで見えてないと、多分テーマの選定とかというのが難しいかなと思うので、多分何でも教えてくださいというような形だったらできると思う

んですけど、何を伝えたいのかというところで、現状決まってないかもしれないんですけど、ただ意見を聞くというだけじゃ、やっぱりないのかなと。

前は全く、何ていうんですかね、青写真がない状態だったので、広い意見をもって参考にするということだったんですけど、委員長が最初説明されたとおり、ある程度方向性が決まって、修正であつたりこういった点をケアしなければいけないというところという、かなりそのオープンハウスのテーマというのにも限られてくるのかなというところで、私もしたい気持ちはあるんですけど、そのゴールまで見えて、やっぱりこれをするんなら、しないとちょっと意見をもらっても結局反映できないとなるとちょっともったいないかなと思ったので、そのゴールのイメージがもしあればと思って伺いさせてもらいました。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

このまちづくり基本構想のほうでオープンハウスをするということになると、やっぱり方向を転換するような意見も出てくるのではなからうかと思えます。

ただ、以前から計画があつて、これはそれまでの議会が入ってきて基本構想が出来上がってるものでありますんで、ひっくり返すということはこの委員会ではしないよというふうに決まりました。

このオープンハウスができるとすれば、道の駅のほうの基本構想はこれからつくっていくので、この小方まちづくりになると、先ほど中野委員が言われたようにすごく狭いところ、これについてだけとかになっちゃうというところなんです、道の駅の基本構想の策定のこととしてであれば、ここではないんですが、執行部にどういうオープンハウスの取組をするかどうかというの聞いていけるのかなというふうには思います。

どうでしょう。このまちづくり基本構想のほうでのオープンハウスなのか、これからの道の駅のほうでのオープンハウスなのかというので、大分意味合いも違ってくるかなと思うんですけど、豊川委員のイメージとしたらまちづくり基本構想のほうですか。

豊川委員。

○豊川委員 そうですね、今、中野委員から言われたとおり、もう出来上がっているものを市民の方にお聞きして、そうですね、真逆の意見とかというのでも出ちゃう可能性もあるので、そこはこの委員会でよく内容などを精査して、オープンハウスというのは、私は市民の意見を聞くというのは、これは議員として基本的なことだと思いますので、開催したほうがよいと思います。

例えば、じゃあ道の駅がもう9割方できましたということで話が進んでいって、市民の方が私そんなの知らなかったよとかって言われる可能性もあるので、やっぱり市民の意見というのは聞くというのが議員の本質なんじゃないかなと私は思うので、オープンハウス自体は行ったほうがよいと思います。

○小田上委員長 ありがとうございます。

中野委員、どうぞ。

○中野委員 ありがとうございます。

やりたいという思いは分かったので、手法になると思うので、今後のスケジューリングのところでもそういったテーマが出てきて、この手法が必要かどうかという議論、次になってくると思うかなと思うので、そういう手法もあるという位置づけでしか今議論できないのかなと思いました。

思いが分かりましたんで、大丈夫です。ありがとうございます。

○小田上委員長 ありがとうございます。

なので、今、豊川委員の質問の項目の中で、これ委員会としての取組と執行部へ聞くことというのが2つ包含されているような感じだったと思うので、あと2つ、中野委員から出されてるものが終わりましたらちょっと整理をしていきたいと思いますんで、お願いします。

よろしいですかね。ほか大丈夫ですか、今の豊川委員の節は。

末広委員、どうぞ。

○末広委員 すみません、巻き戻しになると思うんですけど、市民の意見を聞くなど言ってる話をしてるわけでもないの、オープンハウスなり、例えばワークショップなり、アンケートなり、そこら辺を手法考えてやればいいと思うので、結局こっちも執行部と対立したいわけではないので、市民の意見を聞いてここでもむといっても、じゃあオープンハウスで出たものを無作為に集めて、じゃあこれはもう今さら何か言っても無駄だから駄目だよという議論をここでするわけにもなかなかいかないので、ちゃんと方向性を決めて市民の意見は収集すべきだと思います。

以上です。

○小田上委員長 テーマの選定と、どのようにやるかというところが大切じゃないかというお話ですね。

特段、反対するものでもないがというところだと思います。よろしいですかね。

では次、中野委員ですかね。お願いします。

中野委員。

○中野委員 すみません、よろしくお願いします。

2つ書かせていただいて、執行部のほうに御質問させていただきたいんですけど、何がやっぱり一番不安かというのが、どこまで外部の方と関わっているんな意見を参考にしながらというちょっとプロセスを見たい、知りたいというところが大前提としてあるというところでの質問書かせていただいております。

今、細川副委員長がおっしゃっていただいて、私もちょっと抜けてたんですけど、要求資料の中に、確かに道の駅の策定のスケジュールとかがあったなというところで、そこら辺で、例えば先ほど道の駅の基本構想・基本計画策定の業務設計書というのが、令和6年、7年こういうことをするというのがあると思うんですけど、どのような形で外部の協力者、委託者と協議しているのかというところの、ごめんなさい、何と言ったらいいいのか分からないんですけど、執行部側があくまで執行部だけで考えているんじゃないんだよというところのこのプロセスが、もしお聞きできるのであればちょっとお伺いしたいというところでした。

なので、委員会での協議というよりかは、執行部のほうにちょっとお伺いしたいなというイメージで思っております。

以上です。

○小田上委員長 まず、これも2つとも入れた感じのお話でしたよね。2点とも。

○中野委員 はい。

○小田上委員長 これについて、何かありますか。

小出委員。

○小出委員 これは、平成28年、平成29年の小方地域まちづくり対策特別委員会の議事録の中を読むと、大体、業者名とかも出てくると思うんですが、その中で出てこないことについて、ほかに外部どういう関わった人がいるかというふうな質問ということでしょうかね。

○小田上委員長 どうぞ。

○中野委員 小出委員、ありがとうございます。

そうですね、どのような経緯というところが、前回の議事録を拝見しても、参考にされてるかという内容についてのあまり説明がなかったのかなと、私自身ちょっと議事録読んで思ったんですね。

やっぱり、そうですね、そこについてちょっとお伺いしたいなと思ったんですけど。

ちょっとごめんなさい。

○小田上委員長 どういう策定の方法で、どういうつくり方で、どういう人が関係しているのかというのが見えない分、なかなか具体的な質問がしにくいというところはあろうと思います。

ちょっと整理させていただきたいんですけども、1個目の質問のほう、5番目のところですね。まず、担当課以外の外部の方というのが、どの辺りをイメージされてるのかなというところですね。

もしあれば、お願いします。

○中野委員 ありがとうございます。

すみません、要は何が一番不安かというのが、執行部だけでももちろん考えてるわけじゃないと思うんですね。いろんな事例を参考にしたりとか、コンサルティングの方と関わって、外部の意見を取り入れてこういった形の計画になってるというところの関わり方というところの、外部コンサルティングの方以外で、例えば外部の方とかこの意見交換したりすることがあるのであれば、ちょっとどういった事業者の方とか、どういった方からその意見を参考にしているのかという、計画を策定するに当たって参考にしている外部協力者といえますか、イメージをちょっと知りたいなというのがありました。

○小田上委員長 なので、計画を策定する担当部局とコンサルタント以外に関係している人がどれくらいいたかというような、ざっくり言うとそんなイメージですかね。

それをざっくり言うと、多分この市民のワークショップだったりとか、議員のワークショップだったり、いろんな人に関わってもらってますみたいな答弁になるのかなと思うんですが、どういう関係の方で、今想像つくのが、この基本構想の中に紹介していただいて

いる事例で、先ほど豊川委員からも触れられたオープンハウスだったりとかという事例もあると思います。

その中で、今まだ私たちが気づいてない関係のところがあるやもしれないので、担当、コンサル以外に協力していただいた方を紹介いただけますかという聞き方はできるかなと。それでイメージを膨らましていくというのも1つかなと思いますが、そんな感じでよろしいですか。

中野委員。

○中野委員 すみません、ちょっと漠然とした質問であれなんですけど。

というところですか、おっしゃっていただいたとおりで。もし聞くことができるものがあるれば、ちょっとお伺いしたいなと思いました。

以上です。

○小田上委員長 事前の調査というか、いろいろ調査はされてると思いますので、具体的な団体名とかは難しいにしても、どういうところと接触してますよ、どういう団体からヒアリングしてますとかというのは聞けるかなと思いますので、聞いてみても。これを基にして、今後の道の駅のほうにも役立てられるかなというふうには思うので、そのような感じで聞いてみるでもよろしいですか。

ほかの方、何か意見等、質問等あれば。

細川副委員長。

○細川委員 一応確認したいんですけども、外部の方の意見の聞き方としたら、まちづくり総合計画とかのときに審議会を立ち上げて、そこに一般の市民の方とか、識者とか、いろんな方に入っていていただいて御意見を聞きますよね。

例えば、高齢者の高齢者福祉計画だったか、ああいった計画をつくる时候にも、審議委員会のほうに計画について御意見を聞く機会を持っていると思うんですけど、そういうのをイメージしているわけじゃないということですか。

○小田上委員長 中野委員。

○中野委員 ありがとうございます。

そうですね、そういったものも含めてでした。

すみません、この質問を上げることによって、先ほど副委員長がおっしゃっていただいたように、こういった道の駅の策定の資料あるよねとかというのが分かれば、分かればというかごめんなさい、教えていただいて、確かにそういうのもあるなと気づくこともできて、自分で調べることもできたんで、そういったものも含めてちょっと質問させてもらいました。

なので、イメージとしてはそういう団体とかのところも、もし分かれば知りたいです。

○小田上委員長 分かりました。

予算特別委員会での資料なんですけど、もう一度、21ページ、22ページを表示します。

実際に動き始めて、これ今の道の駅と言われているところの話なんですけど、実際に何をつくろうとかというときのヒアリングはこういう団体にしてますよという報告がここにも上がっておりますので、こういうところも事前に見ていただいておいて、関係団体等

聞いたときに、こことはこういう話をこのタイミングでしたんだという整理をする機会にさせていただいてもいいのかな。あと、副委員長から紹介のあった、審議委員等の関わり方とかというところも聞いてもいいのかなとは思いますが。

概要の説明を求めたいというふうにありました。その点は、皆さんいかがでしょうか。

小方地区のまちづくり基本構想のほうの概要の説明を改めてお願いしたいというところもあったんですが、その辺りどうでしょうか、執行部。

そこは概要なので、自分たちで押さえられるところなので、プラスアルファで、小方地区のまちづくり基本構想の概要。なので、概要版のほうで説明をいただくということになるのかなと思うんですが。

中野委員。

○中野委員 ありがとうございます。

概要は私大丈夫です、すみません。

この概略というのが、今お示しいただいたにぎわい交流ゾーンの経緯とかというところが一番知りたかったので、私自身もう一回ここを読んで、ここの中でちょっと分からないことというので多分解決できるところがあるのかなと思いますので、すみません、私の見落としでちょっとこの資料読み込んでなかったのもう一度ちょっとこちら読んで精査させていただきたいと思いました。

すみません、ちょっとアバウトな質問になってしまっ。

○小田上委員長 こうやって出して行って、どこに資料があつてどうかというところも必要じゃないかなと思います。

では、少しこの基本構想についてのまとめをしていきたいと思いますけども、まず、藤川委員の出された一番上の、データが古いので人口ビジョン等変えていけばいいんじゃないかと、最新データにしていくべきじゃないかというところ。できるかどうか、これは執行部に聞いてみるということによろしいですね。

まちづくりに必要なこと、クリアしていると思うものというところで、概要版のところでも5点あったところ。ここも、これからの課題見直していくという中では知っておくべきかなと、執行部がどのような考え方、立ち位置だと判断してるかというところは聞いてもいいのかなと思うので、聞いていくということによろしいですかね。

豊川委員の出された、ここですね。議論したいという御希望には、ちょっと今のところ添えそうにないんですが、この流れ上ですね。なので、まず国土交通省の予想がどれくらいなのか、あと、市としてその変化が起きたことによってどういう取組をしていくかというのを執行部に聞くということで、よろしいですか。これもよろしいですかね。

次のオープンハウスなんですけども、これはほかの委員からも声がありましたが、道の駅のところでオープンハウス聞いてみるのは1つだけでも、これからこの中身を精査していく中で、どういう手法があるかというところなので、これは一旦なくても……。

豊川委員。

○豊川委員 すみませんでした。

これも、私が中身を勉強せずに、こういう疑問をちょっとぶつけていたということがあ

りました。申し訳ございませんでした。

やっぱり中身をもうちょっと精査して、市民にお聞きしたい内容があれば、例えば、道の駅でいったらスポーツ体験型と書いてますけど、スポーツって何の種目がいいとか、そういう聞きたいことがあれば必要性はあると思います。

大変申し訳ございませんでした。

○小田上委員長 なので、ひとまずこれは保留で、スケジューリングの中で考えていくということで行きましょう。

次、中野委員の2点なんですけど、協力者のところ、どのような関わりがあるのか簡単にというか、紹介いただくというところにとどまる程度でいいのかなと思いましたが、それでよろしいですか。それで聞くことは可能だと思いますので、そのような形で行きたいと思います。

思いのほか、この6項目だけで40分使ってますんで、もうちょっとスピーディに行ければいいなと。

小出委員、どうぞ。

○小出委員 ちょっとこれまでに資料が出てきたのかどうかということがちょっとよく分からなくて、今、平成28年にこの基本構想についてはパシフィックコンサルタツの報告書がこれ出ておりますよね。今回の予算特別委員会のほうの資料要求で出てるんですが、そのときに都市計画についてとか、あるいはJ Rについても2業者のほうに、なんですか、計画の策定を依頼していて、その報告書というのは必ずあると思うんですが、その報告書というのは開示していただけないんでしょうかね。

○小田上委員長 その点につきましては、内部協議というか、相手方のあるものであって、必ずしも成果物があるものではなさそうです。

なので、こういう形で今こういう状況です、と公開できるものがなかなかないというところですので、このような予算をつけてやっているんでそのお気持ちはすごく分かりますし、副委員長、議長含めて事前にこういうものがないのかねと聞いたんですが、今も話を続けている途中ですので、公開するのが難しいというものがあるようにも思います。そんな雰囲気を感じました。言われたわけじゃなくて。

なので、なかなか難しいんじゃないかなと思いますけど、補足ありますか。

副委員長。

○細川委員 いつの委員会だったかあまり記憶にないんですけども、小方の今後の道の駅とか、小方新駅のことについての執行部の答弁の中で、まず小方新駅に関してはJ Rとの交渉はしているけれども、最終的に決定権はJ Rのほうにあるんで、その交渉に関しては、つまびらかにオープンにするのは逆にマイナスになるので、交渉にもマイナスになっていくので、全てをオープンにはできないという執行部からの話があったと思うんですよ。

今のところ、だからこの平成28年、29年の調査の中できっちり回答できているのは、小方新駅をあの付近に造ることはできますと、可能ですというね、そこだけはJ Rから返事をもらってるというだけは議会のほうに何回もお話があったと思うんですけど、それ以外のいろんな条件に関してとか、協議の進捗状況とか、あの辺りは勘弁してほしいと言った

のは、この間だけ、いつだったか、その話があったと思います。

道の駅に関しても、その相手方が国になってくるので、交渉の経緯について全てをオープンに、逆に市にとってマイナスになることに関してはオープンにはできないという考え方がありますので、そこは難しいといった答弁をいただいていると思うんですね。

結局、今おっしゃった駅とこの国道2号との接点のことも調査はしたけれども、ちょっとオープンにはするのは難しいという答弁だったように記憶をしています。

中野委員から後ろのほうで、今後の特別委員会としての関わり方として何かあればという御質問があったんですけども、そこはやっぱり今のJR、相手があることに関しては、執行部のほうが全てオープンできないということ、苦しい中でやってるけれども、そこは議会としても理解をしながら、話を進めていかなきゃいけないというそういう気持ちを持つとかなないと、話が前に進まなくなるのかなというふうには思います。

すごい私たちとしたらストレスがたまる、本当のところはどうなのよと思う、ストレスたまるのはよく分かるんですけども、議会にオープンするということは市民にそのままオープンするということなんで、逆にマイナスになることもあるということとは理解した上で、特別委員会の中で議論する必要があるのかなというふうに思います。

○小田上委員長 小出委員。

○小出委員 分かりました。

委託を受けた業者さんが第三者機関ですよ。直接JRであるとかという国土交通省との交渉ではなかったもので、第三者の機関が計画した内容の報告書が開示できないものかなというふうにちょっと少し単純に思ったわけです。

○小田上委員長 ありがとうございます。

では次、議員全員協議会の資料のほうに入っていきたいと思います。

ちょっとスピードアップできればうれしいかなと思います。よろしくお願いします。

では、小方地区のまちづくり事業についてというところで、細川副委員長から2つ出ますので、よろしくお願いします。

○細川委員 まず1番目については、これはホームページとかでも道の駅については説明があるんですけども、じゃあ具体的に休憩機能というのはどういうものがあるのか辺りを少しかみ砕いてもうちょっと御説明いただければイメージがしやすいというのと、またそれ以外に、じゃあ市はどのぐらいまで自由度があるのかという辺りがお聞きしたい。

あと、自由度の部分に関する国の財源というのは、どのぐらい当てにできると考えていいのかというのを説明いただければと思います。

2番目については、これはちょっと生活環境委員会の中で、今後ここにも道の駅という具体的なことがあるんなら、いろんなところを見て実際どうなのかというのを見たいという御意見もあったんで、それをこちらのほうでということを持ってきました。

○小田上委員長 ありがとうございます。

道の駅の、具体的にどの程度整備することが必要とされるのか、というところだと思います。そこを聞いてみたい。

市の自由度、単独ではなく一体型という方針が今のところ出てますので、一体型とする

とすれば、市の自由度はどこまであるのかというところを聞きたいということだったと思います。

これに対して質問ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 特にないですかね。

では、次。特別委員会もたくさんあります。基地周辺対策特別委員会と広報広聴特別委員会と小方まちづくり特別委員会と、もう1個、議会のあり方調査研究特別委員会。たくさんあって、どの委員会も自由に視察に行くということは、なかなか財源の関係で難しいと思いますが、ちょっとそこを調整しながら、もし可能であれば、この特別委員会で道の駅等の視察ということも考えていいんじゃないかなというふうに思っております。

その辺りは、ほかの特別委員会の委員長とも協議をしながら、予算の部分を考えていきたいと思いますんで、これは御意見というところで受け止めたいと思います。

それでよろしいですかね。ありがとうございます。

では次、末広委員ですね。

末広委員。

○末広委員 私もちっと聞きたいこともそうなんですけど、意見というか、提案みたいな形になっちゃうんですけども、委員会独自で調査事項として提案になってくるんですけども、ここ補助金を書かせていただいているんですが、今の段階でなかなかまだ決まっていないうところで、説明できるところがないんで、議員全員協議会ときには御説明していただいているんですが、この道の駅に関わる補助金というか、支援メニューって非常に多岐にわたるんですよね。

これ見てちょっと調べてみたんですけども、道の駅支援メニューというのは何十ページもあるような、補助金も何種類もあるんですけど、これを今何を使うかってなかなか難しいとは思いますが、ただこれ委員会の中で共有と勉強しとけば、例えば、市民がこう言ってるんだけど、こういう支援メニューあるからできるんじゃないという提案もできると思うんですよね。なので、この支援メニューに関して委員会で調査、研究してもいいんじゃないかなと思います。

次の事項、民間活力導入可能性調査。これちょっとすごい言い方が悪いんですけども、議員全員協議会の中でもそうですし、予算特別委員会の資料にも、詳しくかなり書いていただいています。

基本構想の45ページとかにも説明していただいているんですけども、PFIで民間に協力、どういうふうに関わってもらおうかというところの手法で、PFIでもBOT、BTO、BOO、DBOと何かいろいろあるんですよね。いろいろ説明はしていただいているんですけど、それがいいのか悪いのかこっちで判断できないと思うんです、今の段階だと。

なので、こっちもどういうものがあるってというのを勉強して、視察もそうですけど、成功事例、失敗事例、失敗事例ってなかなか難しいですけども、事例を調べて、こういう事業でこういう方式取り入れたけど、こういう結果だということを委員会で調査してもいいと思うんですよね。

これは提案です。

3 番目は、このままですね。今もう A 地区自体は具体的に話が進んでるので、具体的に見せていただければと思います。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

まず、1 点目。これ補助メニューでどんなものがあるかと、今、末広委員も言われましたが、多岐にわたるので、今、道の駅については基本構想をつくる業者の選定をこれからするというタイミングです。

なので、その業者を決めてどんな内容にしていくか、基本構想がですね。どういうものになるかによってメニューが変わってくるので、今の段階でこういうメニューを使いますとは言えないと。

なので、こういうメニューを使いたいと言ったときに、機能含めてこういうメニューもどうかとこちらから提案できるように、メニューの勉強をしておいたほうがいいんじゃないかという意見だったと思います。

次、民間活力のところも、P F I 方式、公共がつくって民間が運営するというようなものでも、運営の仕方にも差があるというところがありますので、そういうところの差というのが、実際具体的にどういうものがあるんだろうという勉強をしておいたほうがいいんじゃないかということでした。

なので、この 2 つについては委員会の調査項目というふうにさせていただきたいなと思います。すみません、ちょっとこれは先に決めてしまいます。なので、委員会での調査項目というところで行きたいなと思います。

次の A 地区売却のプロポーザルの仕様書については、これ先日の予算特別委員会の中で、積極的に情報を提示していくという答弁もありましたので、これは月 1 回必ず開催するというふうに決めてますので、それに併せて、タイミング的には執行部からもタイミング合えば出してもらえんじゃないかと思います。

なので、ここはお願いしますねというところで要望しておく程度かなと思いますが、いかがですか。よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 では、次に藤川委員、お願いします。

藤川委員。

○藤川委員 すみません、3 つ一緒に言わせていただきますね。

皆さんも感じていると思います。スポーツ体験型道の駅。全く想像が私できてないんですよ。もちろん、利用者層も見えてきてません。

また、このスポーツ体験型が見えてこないの、土日は通行している方が寄ってくれてるのかなというイメージは湧くんですけど、平日の全くイメージが湧かないんですよ。

食事できるところもあるのだろうか、そういう細かいところというのはこれからなので、まだまだ協議会でも御答弁していただきませんでしたけども、これ完全に私のミスで、予算特別委員会の 25 ページの資料の中にも図が出ております。配置計画のモデルプラン等で

すね。これ本当、私の見落としでした。質問するべきだったと、今反省しております。

こういう資料の説明等もちよつとしてほしいかなと。でも、この図には多分県や国の事業も含まれていると思うんですよ。それに対しての事業の説明、今していることの説明に対して、プラス、今後国と県が、この小方まちづくりに取り組んでいく事業の説明をしていただければなと感じております。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

3つまとめて御説明いただきました。

特に上の2つ。ターゲット・利用層。あと、平日昼のイメージというところですね。

これは、現段階で、先ほど説明少ししましたが、今からプロポーザルで基本計画をつくる業者を選定する作業に入るという段階なので、市としてどのイメージを持っているのか、どの程度のイメージなのか、というところはもう伺えると思います。前提としてですね。

あまり狭め過ぎると、またコンサルの自由な発想というところも生まれにくいんじゃないかという懸念も多分してると思うので、どの程度でというところ、前段のところの説明はしていただこうと思いますので、そこでまず収めておいていただきたいかなというふうに思います。

小方まちづくりに関するところ、関連するものがあればというところは、説明できるものは、国とか県のものだと一方的にというのはなかなか難しいかもしれませんが、説明できるものはしてくれというのはできると思いますので、そこは質問してもいいかなというふうに思っております。

皆さん、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 ではこれは、一番下の藤川委員の出された8番目のところは聞くというところで。

では、豊川委員ですかね、次は。お願いします。

豊川委員。

○豊川委員 よろしくをお願いします。

私のほうからは4点なんですが、まずちょっと1個ずつ聞きたいなと思うんですけども、まずこの道路状況になります。国道2号に関してなんですけれども、今年中にA地区を売り出すにしても、国道2号の下りの大竹市役所前の交差点を、下り方面に広島方面から岩国方面に走っていった際の大竹市役所前の交差点を、右折できるレーンがあるのとないのとは、利便性が全く変わってくると思うんですよ。

例えば、広島市内から岩国方面に走ってきて、最初にこの小方地区に行こうかなと思って、そこの右折できる交差点が黒川1丁目交差点なんですよ。そこから中通りを走るという形になるので、こちらの早期実現のほうはあるのか、ないのかという、こちら国土交通省との話し合いになると思うんですけども、これがまず1点ですね。

次に、小方新駅なんですけれども、この市民説明会での質疑をちょっと拝見したんですけども、こちらの小方新駅の、仮に建設されるとして、費用負担のほうが地元が望む請

願駅になるので、自治体の見込みというふうには答弁のほうでなっているんですけども、この小方地区を私ちょっと歩いてちょっとお話とかお聞きしたら、市民の方の中には、地域負担など金銭面であるのではないかと不安になられている方も多くいらっしゃるので、こちらのほう執行部のほうが急に方向転換して地域負担になるんじゃないかなとか、そうならないように常に細かく確認はしておきたいなと思います。

あと、すみません、もう2点あるんですけど、立ち退きなんですけれども、こちらの旧市民プールの南側と東側の住宅というのは、一旦立ち退きになって更地になるのか、それとも、C地区にある程度建てていただいてちょっと取り壊したりするのか、というのが1点お聞きしたいなと思います。

あと、道の駅なんですけど、こちら本当スポーツ体験型と言われてもちょっと漠然として、私も想像があまりできてないんですけども、近隣に晴海臨海公園などもあってですね、スポーツできる施設というのは。

現代は、スポーツといっても幅広いじゃないですか。例えば、バーチャルの世界においてもeスポーツなどありましたり、リアルにスポーツマージャンなどがあつたりもするので、我々が市民の声などをお聞きしながら、積極的に各自で視察など行って、その中身を執行部に提案していきたいなと思いました。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

まずは、道路のことです。国道2号の下りの右折レーンのところですが、これは聞けるとは思いますが、何かございますか。

副委員長。

○細川委員 すみません、たまたま私、生活環境委員長をしておりますので、さっきも岩国・大竹道路に関しては、毎年、国土交通省にお願いして進捗状況を説明していただいているんですけども、何件か御意見も出ているようですので、ちょっと生活環境委員会として、岩国・大竹道路絡みの進捗状況ですか、今年度の国の予算とか、あの辺り説明いただけるかどうかのちょっと確認をさせていただいて、もし説明いただけるようなら、いつも6月の辺りでお願いしていますので、そっちに向けて努力してみるということでもよろしいでしょうか。

○小田上委員長 今、生活環境委員会の委員長として御発言いただきました。

岩国大竹道路の進捗に関しては、国土交通省が生活環境委員協議会でいつも御説明をいただいているという状況であります。

まちづくり基本構想のほうでも、国の予想等もございましたし、具体的な交差点の話でもあるので、ちょっと生活環境委員会のほうに、委員長もおられますのでそちらから依頼をしていただいて、あの場は質問できる場もありましたよね、生活環境委員は。

○細川委員 はい。

○小田上委員長 なので、もし実現するということであれば、その場を有効活用していただく、ひとまずそこで確かめてみてからということのほうがいいですかね。

その方向でちょっと生活環境委員会の委員長に、あと議長にお願いをしたいと思います

けども、事務局それは問題ないですよ。

どうぞ。

○山田議会事務局長 まず、ちょっと担当課通じて、生活環境委員会のほうで今年度説明の予定があるかということと、いつ頃、もしかしたら中身によったら少し時期を変えたほうがいいとかいうのがあるかもしれませんので、その辺まずちょっと確認させていただいて、やれそうであつたらまた手続を取りたいというふうに思います。

○小田上委員長 ありがとうございます。

では、開催が可能であれば、ひとまずそちらに任せるところにして、なかなか難しいよと、例えば今年中もう無理だということであれば、また方法考えてみるということでもいいのかと今で思いましたが、よろしいですか。その方向で。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 ありがとうございます。

この2個目が、ごめんなさい、まずちょっと質問させていただきたいんですけど、この地域負担というのが強制的な負担みたいな、どんなイメージをされてるかというのが御説明いただけるのであればお願いします。

豊川委員。

○豊川委員 そうですね、金銭面などでこのぐらいの負担があれば駅ができるよとかという、地域の方とそういう交渉にならないよということ。

○小田上委員長 例えば、自治会から幾らもらえれば駅ができますとか、そういうことになるんじゃないかという御心配をされてるということですよ。

○豊川委員 そうですね。そこはもうゼロで行きたいなと。

○小田上委員長 なので、ある意味強制的というところにならないよということですかね。

○豊川委員 そうですね。半ば強制的にはならないように、その交渉材料にならないように、そういうことが。

○小田上委員長 ごめんなさい、勝手に自治会とかをイメージしちゃいましたけど、そんなイメージで大丈夫ですか。

○豊川委員 そうですね。

○小田上委員長 これについて何かございますか。費用負担のこと。

どういうふうな財源かというのは、具体的には難しいかもしれないですけど、どういう手法があるかの説明はできると思うんですね、執行部も。どう考えているかというのは、これは聞けるとは思います。

次、旧市民プール。これ今、豊川委員の説明を伺ったら、一旦というか、恐らくあの周辺地域絡めて立ち退きは発生するんですね。多分立ち退くまでの順序がどういう順序になるのかということを知りたいのかなと思ったんですけど、この一旦立ち退きかではなくて、この立ち退きまでの順序というところかなと思ったんですけど、そういう整理でよろしいですか。

では、どういう順序で、プールも更地にするはずですから、今後の予定ではですね。そ

の順序を聞くという説明で、これ何かございますか。

よろしいですか。これも恐らく大丈夫だろうと思います。

次、これ執行部にどうこうというよりも、各委員とかがそれぞれ問題意識を持って、視察とか研究していったほうがいいんじゃないかという御意見ということで頂戴してよろしいんですかね。e スポーツとか……。

○豊川委員 道の駅に関して。

○小田上委員長 道の駅に関してのところですよ。

○豊川委員 そうですね。

○小田上委員長 よろしいですか。では、各自でと。

今後、委員会の中で調査していく項目の中に入るかもしれないけども、まず、各自でこういう意識を持ったほうがいいんじゃないかという問題提起というか、御意見ということで受け止めてさせていただきます。

すみません、時間が11時6分なんです。多分行けるとは思うんですが、ちょっとだけ休憩しましょう。15分まで休憩して、残りを全部やりましょう。

よろしいですかね。

〔発言する者あり〕

○小田上委員長 じゃあ、休憩前に。

中野委員。

○中野委員 すみません、ちょっと次のページの小方地域まちづくり対策特別委員会についての質問が、私すごく多いんですけど、その場で言おうと思ったんですが、個人的にも確認できることがたくさんあるなと思ったのがまず1つと、皆さん質問出されて、ここがメインの議論にならないだろうなと思ったので、ここはもう、何ていうんですか、1個ずつ精査するというより、ちょっとこういったことを今後、この特別委員会で大事にしていきたいという意見を述べる程度に収めたいと思ったので、1個ずつ、私は精査する必要はないと思ってますんで、多分スケジュール大丈夫だと思いますので、ちょっと先にそれをお伝えして。

○小田上委員長 少し時間的な余裕もできたという理解でいいですかね。

では、暫時休憩いたします。11時20分まで休憩します。

11時07分 休憩

11時20分 再開

○小田上委員長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

すみません、小出委員からですね。議員全員協議会の資料についてと。

小出委員、お願いします。

○小出委員 2つほどです。

まず1つが、先般の議員全員協議会において、道の駅としての需要が見込める1つの要因として、竹原市から周南市に至るまでの長い国道2号、188号沿いに道の駅が不存在であるというようなことを理由として説明されていたんですが、なぜ長い区間において、道の駅がそもそも存在していないかということをもどのように分析して、その上で、需要が本

当に見込めるものであるかというところ、その辺をどのように分析、検討しているかというところを聞いてみたいというのがまず1点目ですね。

もう1つは、道の駅の基本構想が平成29年に発表されて、その翌年、平成30年にパシフィックコンサルタンツの概要書みたいなものが出て、その後、令和4年9月7日の議員全員協議会で執行部のほうからゾーニング変更というようなものが提出されていて、それは議員全員協議会の資料の中でどのように変更されたかということの絵柄は見えるんですが、その変更された後の内容においては、この全体、今でいうところのAからD地区全体が住居にぎわい交流ゾーンというものでくくられてるんですが、それからまた改めて、今回の説明でAからDまでの区域分けがされたというような経緯、その辺を詳しく聞いてみたいというところです。

○小田上委員長 ありがとうございます。

1点目のところは、国道2号から188号の間、長い区間で道の駅がない理由をどういうふうに分析してるかというところ。ここにも書いてあるとおり。需要をどのように予想しているかというところ。

これは聞いていくべきかなというふうに思いますので、質問する事項でいいかと思います。

これについてはよろしいですかね、聞いていくということで。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 では、次なんですけども、これが令和4年9月の議員全員協議会で、にぎわい交流ゾーンが今A、B、Cに区分けされているところも含まれたと。ゾーニングの変更はしますというところで、小方地区のまちづくり基本構想のほうの改定もされてます。令和4年の。

なので、その改定されてからA、B、C、Dのゾーニングの経緯ということでもいいですかね。なので、道の駅については、当初から小方中学校跡地に道の駅という構想は当初からあったように見受けられるんですが、具体的に言うとA、B、Cのほうの経緯ということではよろしいですかね。

そういうようなことであります。これも聞けるかなというふうに思いますが、何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 よろしいですか。

では、A、B、Cの区分けの経緯というところで聞いていきたいと思います。

では次、中野委員ですね。お願いします。

中野委員。

○中野委員 ありがとうございます。

まず、質問の15、18に関しては、皆様の御意見とかいろいろ聞いてですとか、18は先ほどと重複しますので、15、18は削除という形で考えてます。

質問の16、17に関しては、予算特別委員会でもちょっと聞いたんですけど、その後進捗があればちょっと状況をお伺いしたいなというところで考えておりました。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

一旦15からの整理ですが、これ前空駅の場合は、周辺の宅地も含めて民間企業がやったというところでこういうことも考えられるかというのが聞きたかったんじゃないかなと勝手に思ってるんですが、それは可能性は多分今ゼロにはしてないと思うんですけど、聞くことはできると思うんですけど、いかがですか。

中野委員。

○中野委員 でしたら、ちょっとその可能性に関して言及できることがあればお伺いしたいです。

○小田上委員長 では、削除と言われましたけど、一応聞いてみるというところで行きたいと思います。

次、16なんですけど、ごめんなさい、理解力がなくて申し訳ないんですが、伺いたいの、この報道後、小方中学校の体育館の利用されてる団体からの問合せがあると。

活動内容の視察依頼が増えてるというのは、これ市に対してとかじゃなくて、委員個人に対してという理解でいいかというところ、すみません、お願いします。

○中野委員 すみません、説明不足でした。

そうですね、そういった報道からこういった団体の活動を見てほしいという依頼が多くて、ほかの施設への利用について、進捗があれからあるかどうかというのがちょっと進捗あれば聞きたいということでした。すみません。

○小田上委員長 なので、今、旧小方中学校体育館を利用している団体との交渉の進捗状況という理解でいいですかね。

では、これは聞けると思いますので、聞くということでよろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 では、17。A地区について、その後民間業者・金融機関等からの問合せはあるか。

これも聞けないことはないと思います。どの程度注目されてるのかというのをはかるにも、聞いておいて損はないのかなと思いますが、聞くということでよろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 では、そのようにさせていただきます。

18はよろしいということでしたね。今後の活動内容に関わってくるところなので、後ほどというところをお願いいたします。

では、次ですね、今開いているのは小方まちづくり特別委員会ですが、前身というわけでもないですが、小方地区まちづくり基本構想が策定されるまでの間ありました、小方地域まちづくり対策特別委員会についての議事録等、中間報告を読んでの質問ということです。

藤川委員、どうぞ。

○藤川委員 お願いします。

私からは、委員長報告の中からはなんですけども、その委員長報告の中で、ごめんなさい、

庁内担当課をつくり専門的な交渉をしていかないと話が進まないという情報をもらってるんですね、そのときに。

今の執行部のこの進捗状況といいますか、その後本当に部署をつくっていくのか、それとも各担当部署からその専属の担当みたいな人がいるのか、何かその辺をちょっと聞いてみたいかなと思っております。

進捗状況もそうですが、今後の活動のビジョンがあれば教えていただきたいかなと思います。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

この文言だけだと、小方新駅の検討についてのところだったように記憶してるんですけど、私の記憶は間違いじゃないですね。

小方新駅を進めていくためには、庁内で担当課をつくって、しっかりやっていかないといけないんじゃないかという報告をされてると。それがどのような、今、組織組みになってるかというところを聞いてみたいということだと思います。

よろしいですね。

藤川委員。

○藤川委員 すみません、今後の取組もお願いしたいと思います。

○小田上委員長 なので、組織の体制と、今後どのように取り組んでいくかというところ含めて聞きたいということでした。

これについて何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 特になければ、これは聞くということでもいいですかね。

では次、小出委員ですね。

○小出委員 すみません、特に何を聞きたいということではないんですが、聞きたいとすればこの執行部の意気込みを聞きたいというところですので、もしあれだったら、今の藤川委員の内容とかぶりますのでまとめていただいても結構なんですが、中間報告において小方新駅がまちづくりする上での大前提というふうな話になっておりますし、スピード感を持った動きが必要ということが何度も言葉に出てきているので、その辺を踏まえて今の執行部がどれだけ緊張感を持って、スピード感を持って今後の新駅については取り組んでいられるのかという辺りをちょっとその決意を聞いてみたいというところですので、もしまとめていただければそれでも結構です。お願いします。

○小田上委員長 組織体制、取組というところが先ほど出たので、どういう取組をしていくかというところを聞けば、おのずと熱意が分かるんじゃないかというようなところかなとも思いますので、まとめてという方向でよろしいですかね。

何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 では、次ですね。

中野委員が続きますので、必要なところを言っていていただければと思います。

います。

中野委員。

○中野委員 ありがとうございます。

すみません、先ほどちょっと休憩前にもお伝えさせていただいたんですが、特別委員会としてしなきゃいけないこと、個人としてもできることというところでちょっと混同している部分もありましたので、トータルでちょっとお話をさせていただきたいなと思います。

1つは、この事前質問を出していただいて特別委員会として行わなければいけないところの方向性というのが、私自身ちょっと腑に落ちたので、小方新駅に関してというところは個別に質問すればいいかなという、まず見解として思っております。

あと、ごめんなさい、ちょっと終わってから今後の方向性というところにも関わるかもしれないんですが、やはり、先ほど末広委員がおっしゃっていただいたように、やっぱり道の駅とかまちづくりに関しての情報というのを、この特別委員会としてしっかりアップデートしていかないといけないなというふうに感じました。

なので、私も当選して間もなく自分で調べるというところがちょっと限界があったので、このまちづくりに関しての関連資料、こういうものがあるのかというのがこの委員の中で皆さん、何ていうんですかね、気づき、意見出しができて、全員がそういったような今までであった情報というのは共有して、次の委員会に臨めたらいいなというのが見解として思ったところです。

あと、今回の事前質問制で、例えば、細川副委員長が先ほどの議員全員協議会の資料のところの2番の質問で道の駅の具体事例をいろいろ出していただいたんですが、そういう質問を見ると、やっぱり自分もほかにどういった事例があるのかなというところで、今後委員会で検討しなければいけないとか、気づきがたくさんあるなと思ったので、そういった意見出しをする場があればいいなというふうに思いました。

なので、私としたら、自分が出した意見で特別委員会として聞くということは、今回テーマとしてこの中にはないのかなと思ってますので、こういったことに気づきましたという意見出しというような位置づけで私としては大丈夫です。

以上です。

○小田上委員長 ありがとうございます。

なので、この中から特に執行部に聞きたいというところがあるというわけではなくて、自分で整理していきたいという趣旨でありました。

その一方で、豊川委員からもらっていた質問で、小方新駅に関してになるんですが、地域負担がないようにというような質問もありました、どのようになるのか。

そこに関連するところがやはり民間企業、前空駅のような事例を挙げてもらってます。

このような可能性と、あと1口5,000円の寄附、和木駅の開業に当たってのというところのどのようなものが取り入れられそうか、可能性があるのかというところは聞いてみてもいいのかなと思いますので、ちょっとこれは委員長、副委員長のほうでぎゅっとまとめて質問項目つくってみようかなというふうには今発言聞いて思ったんですけど、いかがでしょうか。

中野委員。

○中野委員 ありがとうございます。

ほかの委員とかぶってるところもありますので、そこは委員長、副委員長判断で御判断いただければと思っております。

○小田上委員長 分かりました。

では、特段この中でどれを質問とかというところは、今この場では決めずにまとめていきたいと思います。

皆さんに大前提として知っておいていただきたいところが、今、小方新駅の話出てますが、これまで1期目の皆さんが入られた中ではあまりなかったんですが、以前から小方新駅に関しての質問は至るところで、いつできるんだろうかというのは見受けられました。

そのときに一番ネックだったのは、大竹駅の橋上化というところをＪＲとの協議を重ねていたというところで、何分、大竹駅の協議がある中で、小方新駅の協議も並行してというのが難しかった部分があるようにも感じております。

答弁の中で、今、小方新駅の交渉について、大竹駅の交渉がまとまらないことには進みませんというようなところも答弁ありました、実際に。公の場でですね。

なので、そういうものがあったというところを踏まえて、例えば何度か上げられてますが、予算特別委員会で出た資料要求されたところのスケジューリングとのずれとかですね。基本構想の中でのスケジューリングとのずれ、これが生じている理由というのはそういうところにもあるんだというのは一旦頭の中に置いておいていただいて、今、大竹市がどういう状況で、どの立ち位置で駅の交渉をしているのかというのも執行部のほうに説明してもらえたらなというふうには思っております。

すみません、長くなりましたが、以上です。

質問していく項目については、ある程度まとめたかなと思います。

あとは委員会での調査項目ですねとまとめたものもそれぞれ言っていたので、これ調査項目と質問する項目区分けしたものをまた整理して、皆様に御提示しようと思います。

それを基に、次回連休明けを予定してますが、執行部に来ていただいて、質疑応答も若干踏まえてやるということを予定したいと思います。

日程については、ごめんなさい、もうちょっと後で決めたいと思います。

執行部も都合があらうと思いますが、今事務局が執行部の日程とか担当課、把握はできてないですね。

なので、2日ぐらい日程を取っておいたほうがいいのかと。どちらになるかは後ほど通知しますというところでやろうと思いますので、すみません、順番前後しますが、それをお願いいたします。

では、調査項目について、ある程度質問したい項目が出てきました。

次回質問して、まずは小方地区のまちづくり基本構想。それで議員全員協議会の部分で、前回の小方まちづくり特別委員会で質問いただきましたが、大きく分けると、小方地区のまちづくり基本構想の微修正と道の駅についてですね。オープンハウスとかそういう意見も出ましたが、道の駅についての考え方。あとは、小方新駅についての考え方。

この3つが大きなテーマになろうかなというふうに思います。

それに併せて、A地区に関しては小出委員が言われたA、B、Cのゾーニングの経緯とかを踏まえて、予算特別委員会るとき、副市長の答弁でしたかね、しっかり出していくというふうに言われてますので、そこを踏まえながらA地区もちろんやっていきたいというところです。

それ踏まえて、まず次回5月に、執行部と、質疑と質問したものに対してまた質疑していただいて構いませんが、それを行ってですね、案なんですけど、5月、6月の2回で修正案、こういうところを微修正するべきじゃないかという、小方地区のまちづくり基本構想の古くなってる部分ここ直せますよ、直せませんよという答弁あるかと思います。基本的に直さないというスタンスで来られるのか、直すこともやぶさかじゃないよということになるのか分かりませんが、直さないということになれば、今後の資料は提供してくださいというお願いをするというようなことになりましたんで、さっき。

なので、聞いてみて、もし微修正が可能、やるつもりでいるということであれば、こういう内容直してくださいと、今の時代に合わせたものを直してくださいねという何項目か上げていってそれを執行部に提出すると。改定してくださいという作業を、5月、6月でやってしまいたいなと。

なので、次回聞いて、意見まとめて執行部に提出。

それに併せて、6月からは、道の駅についての基本情報を精査していく時間をつくっていききたいなというふうに思ってます。

例えばなんですけど、6月から8月にかけて、先ほど上がりました、道の駅だけでなくいろんな施設、PFIでつくってるところ、運営方法等あります。そういう事例の紹介だったり、こういうものがあります、運営の方法もこれだけ種類がありますと、補助金メニューもこれだけあるという勉強をやっていって、基礎知識を固める期間を6月、7月、8月で考えて、9月、10月あたりで整理、まとめを行って、11月、12月の間で、道の駅に関してはこういう機能を持つてほしいと、必要じゃないかと、こういう運営方法がいいんじゃないかという意見をどんどん出していって、道の駅の基本構想を執行部がつくっていく中で参考にしてもらえるように、全て取り入れられるわけではないと思いますが、道の駅の基本構想をつくっていく中で、特別委員会からこういう意見が出てるという参考にしていただくための資料作り。なので、こういう意見が出てるので取り入れてほしいというのを、12月末めどにつくっていけたらなというふうに考えてます。今のところですね。

今の皆さんのお話を聞いて、基本の勉強をする作業、まとめていく作業、整理をして提案をする作業というのができるんじゃないかなというふうに考えてます。

まずその作業をしながら、適宜、A地区について今予算組みされてるものありますので、進捗状況があれば、それを受けて質疑をしていくという流れになろうかと思います。

それで12月が終われば6月に委員改選なので、まだ半年近く余裕があると。そこで今度は小方新駅だったり、実際に、仮にですけど、道の駅の基本構想を策定するに当たって、例えば、市民の意見を尋ねる機会をつくるとかというのをそういうところに充てていってもいいですし、12月終わった段階で、ある程度作業した段階でこれからの半年間どうい

取組をしていくか、半年、特に最後のほうは6月定例会で中間報告をすることになると思いますので、中間報告に向けての作業というのを4月からは始めたいという流れです。

このようなところ、今皆さんの質問事項をお話聞きながらざっくり思ったんですが、いかがでしょう。これにプラスしたり、こういうのをやってほしい等あれば。

末広委員。

○末広委員 質問になるんですけど、先ほど、勉強やっていって意見まとめて、こういう意見が特別委員会から出ましたというのをまとめて執行部に上げるというところで、スケジュール的に難しいとは思うんですけど、その後にやると言っていましたけど、そこで市民の意見を入れる必要はないですか、道の駅。

○小田上委員長 なので、12月に意見をまとめるまでに、市民の意見を聞いておく場が要るんじゃないかということですね。

どう思われますか。

意見なくてもいいということはないと思いますけど。

中野委員。

○中野委員 そうですね、そういった機会が設けられるんだったらいいなと。あと仮に予算が取れて視察ができるんだったら、その前の段階でできたらいいなというふうに思いました。

ごめんなさい、もう一回ちょっと最初のところ説明いただきたいんですけど、修正案をいつ出されるというところです。ごめんなさい、もう一回ちょっと。

○小田上委員長 今、お話聞きながら、ぱっと考えたものなんですけど、次回5月にやって5月、6月の間でまちづくり基本構想のほうで修正すべき点、これを直したほうがいいんじゃないかというものをつくって、6月末に提出できればいいかなと。まちづくり基本構想に関しては、5月、6月の間、2か月でやりましょうと。

道の駅に関しては、基本情報の勉強とかは6月、7月、8月。

なので、6月はやるのが2つあります。まちづくり基本構想の修正、こういうところ修整したらいいんじゃないですかとまとめる作業と、道の駅の勉強を始めるというのがダブる時期になります、6月は。

8月までは基本情報を整理していって、基礎知識を固めていきます。

9月、10月で整理してまとめ案をつくる。ごめんなさい、9月、10月、11月でまとめていって、12月定例会間ぐらいで、道の駅に関して必要な機能等の意見を出せたらいいかなというふうに思ってます。

道の駅に必要な機能というところだけではなくて、先ほど末広委員の言われたオープンハウスみたいな、豊川委員やほかの方も言われてますけど、市民の意見を聞く場をつくってほしいという意見も入れていいと思うんですよ。

例えば、議会主導で道の駅の意見を募ります。その後に、執行部のほうが道の駅の基本構想についての意見を募りますみたいなことをやったときに、市民は議会がやってようが市がやってようが同じように見えると思うんですね。なので、そこは歩調合わせてやったほうがいいのかなと。

以前のまちづくり基本構想も、執行部がオープンハウスをやった中に議員も参加しているという形なので、もしやるのであればいつ頃になるかということも含めて、年内にというのがどうなのか、スケジュール感も執行部のほうに聞いてみないといけないですけど、ひとまず自分たちでできる調査を6月、7月、8月の間でやっ払いこうと。

執行部の状況を見ながら、もしオープンハウスをするのであれば、ワークショップ的なものも含めてするのであれば、そこに議会も、特別委員会としてかどうかは分かりませんが、参加させてもらえるようにという形で提案はできようかなと思います。

そういうふうに、今考えたほうがいいのかないかと思いましたが、いかがですか。

中野委員。

○中野委員 先ほどの予算特別委員会の要求資料のところで、令和6年度にこの基本構想・基本計画の策定というところのスケジュールリングだったと思うんですけど、その執行部とのスケジュールリング確認されるということだったんですけど、それ次第ですよ。

それがどのタイミングでできるのかというところで、若干スケジュールリングも変わってくると思っていていいということです。

○小田上委員長 はい。

○中野委員 分かりました。

すみません、もう1つ。

次回の執行部への質問というところで、私自身ちょっと要望というかあれなんですけど、予算特別委員会が出された、にぎわい交流ゾーンの立地検討業務の資料に関して、まだよくきちんと精査できてなかったなというところだったんですけど、次は、質問するというのはその場での質問もオーケーな形で考えて大丈夫ですか。

○小田上委員長 にぎわい交流ゾーンについては、中野委員からもありましたし、ほかの委員からも説明が欲しいという声は今日ちょっとぽつぽつと聞こえてましたので、小方地区のまちづくり基本構想の概要版ですが、おさらいということはしたほうがいいと思います。

なので、執行部に今の立ち位置というところを説明してくださいというのは伝えておりますので、いろいろ計画については。

その中で触れてもらえる機会をまずつくって、その後に、今出している項目の質問を答えていただく。その中でプラスアルファの質疑応答も可という形でできればなと思ってます。

なので、そこは執行部にこちらからお願いする形になるので、全部が全部、ちょっと難しいかもしれないですが、その場で答えられないこともあるかもしれませんが、質問を投げかけるということは考えてます。

よろしいですか。

では、小出委員。

○小出委員 すみません、重複してます。

道の駅の基本構想の業者選定のための仕様書、プロポーザルになるかどうか分かりませんが、仕様書を作る中に我々の意見も取り入れたいというところで、ごめんなさい、そのスケジュールリングが今後の執行部との調整で決まってくるからということですよ。

説明していただいた予定も多少変わるかもしれないというところで、ごめんなさい、ちょっと重複しました。

○小田上委員長　ありがとうございます。

今から、道の駅の基本構想を決める業者をプロポーザルで選定するというところはもう決まってる場所ですね。

なので、そのプロポーザルについての仕様書とかどこまで情報いただけるかですが、事前にあまり出せないものもあると思います。

多分、さっきもちょっと前に触れましたけど、こんなものをつくりたいんだという思いは必要ですが、あまり具体的なもの過ぎるとコンサルの自由度が下がるということもあると思います。

なので、この委員会がまとめる作業はそうではなくて、もうプロポーザルで業者が決まったときに、実際に計画をつくっていく段階のときに取り入れてほしいものというところの作業になると思います。

なので、今回、道の駅の基本構想を選ぶ業者を選ぶための材料を提供するのではなくて、業者が選定された後に、実際に動いてもらうときにこの視点を持っておいてほしいというものを提案するものになるのかなとは思っています。

小出委員。

○小出委員　そうですか。

道の駅の基本構想のプロポーザルの仕様書というのは、もうできてるというふうに認識していいんでしょうかね。

それで、一旦このプロポーザルの仕様書ができると、過去のプロポーザルで契約結んだ後の事業を見てみると、そのプロポーザルのこの提案どおりのものが出来上がっていくというイメージがあるんですよね。なかなかそれに修正案が含まれないんじゃないかというふうに思うので、もし仕様書の中に我々の意見が取り入れてもらえるように、間に合うのであればしてほしいなというふうに思うんですが。

大竹小学校を造るときにも、あれもプロポーザルで業者選定したんですけど、結局その当時、執行部が提案したほぼそのままの学校ができたというところがあるので、なかなか後からの修正案というのが、修正が利かないんじゃないかというふうに心配するんですが。

○小田上委員長　プロポーザルで選定する業者に対して、こういうものやってほしいというものをまとめるという御意見が出てますが、いかがですか。

タイミング的に、まだ多分仕様書は今回予算が組まれて始まったので、仕様書もまだできてないんじゃないかなと勝手に思ってるんですけど、そこら辺は執行部に確認できようと思いますが、どうでしょう。

末広委員。

○末広委員　現実的に議会側が業者にお願いするというのは難しいと思うんですけど、仕様書については言えるんですかね。今まで、そういうことってあったんですか。

○小田上委員長　ありがとうございます。

以前、基本構想策定のための業者のプロポーザルの仕様書について、何か意見が議会から出たということはありませんかね。

局長。

○山田議会事務局長 仕様書の段階ではなかったとは思いますが。

一般的に言うと、プロポーザル、まず今回も公募でやるとしますので、市として今回こういった業務をしたいんだよということを基本仕様書というような形で、例えば今回というと、道の駅のこういうこととこういうことについて調査をして、成果物としてこういうものが要るんだというようなものを基本仕様書としてまず出して、それに基づいていろんな業者が手を挙げてきます。

手を挙げてきた業者それぞれ提案がありますので、それは業者によって、うちはこんなやり方で市の求めている計画を実現させたいんだというのはまちまちです。

それを市のほうで審査をして、ここの業者に任せるのが一番よからうかなというところを審査をしてそこをお願いをするということで一旦業者が決まります。

業者が決まりましたら、改めて最初に作った基本仕様書をベースにして、それから業者からあった提案というのがありますから、そこを踏まえて、じゃあ実際に今年度、業務をこういう形でやっていきましょうという形で最終的に仕様書を固めるという作業になっていきますので、その段階で、例えば議会としてワークショップを必ずやってほしいであるとか、そこに議会も参加してほしいであるとかということがあれば、取り入れられるかどうかは別にして、その段階にはもう提案をしとかなないと一旦は難しいかなと。

場合によったら、途中で少し盛り込んでもらうというようなことは可能かもしれませんが、理想的なのはその段階かなというふうに思います。

○小田上委員長 ありがとうございます。

なので、今回の業者選定のプロポーザルは、現実的にはちょっとタイミング等もありますし、そういう事例に縛られるわけではないですけど、なかなか難しいんじゃないかというところで、この委員会として意見を出して取り入れてもらえる可能性があるのは、その業者が実際に計画をつくり始めるときに、進め方についてだったり、内容についてというところの意見は言えるんじゃないかということだったと思います、局長は。

なので、ちょっと業者選定についての意見というのは、あまり細かいことは市も言わないと思うんですね。一番最初の段階では、いろんな意見が欲しいので。

その中で選んでいくということになると思うので、出てこないことにはどういう判断をするのかというのがちょっと分かりづらいかなとは思いますが、何もここで見えてない状態でこうしてくださいと縛ってしまうのがいいのかどうかというのは、ここで判断しないほうがいいのかなと思います、何かこれをというのとは。

と思いますが、いかがですか。

副委員長。

○細川委員 予算特別委員会の資料の26ページ、令和6年度は道の駅の基本構想・基本計画の策定ですよ。

だから、業者が決まったらというか、どういう手法でやってくれるかというか、一番市

が期待するようなやり方をしてくれるような業者を選んでいくということだと思うんですよね。

ただ、ここの中身について少し、例えばさっきから市民の意見、ワークショップとか、そういった市民の声を直接聞く機会というのは、例えば（10）に入ってるのか、（8）の中でそういうことをしていくのか辺りは確認したほうがいいように思うんですよね。

例えばさっき、最初に中野委員が第三者の意見をどういうふうに取り組むのかという辺りでも、その関係者、合意形成の中でどのような考え方をしていくのかという辺りを、業者が決まる前に市の考え方を確認してもいいんじゃないでしょうか。

それで、議会としてはそうしてほしいというのをちゃんとっておいたほうが、もしかしたら業者選定に当たって若干のポイントになってくるんじゃないかという気がします。

○小田上委員長 ありがとうございます。

でしたら、次にこの道の駅の基本構想をつくっていく、基本計画をつくっていく中について、これは取り入れてほしいという意見は出さないと遅いと思います。

なので、どうしようかな。

〔発言する者あり〕

○小田上委員長 その説明いただいて、そうですね。

じゃあ次のときに、ここの今出てる26ページの道の駅の基本構想のつくり方を説明いただいて、6月に基本構想の微修正の部分つくりますんで、それと道の駅についての基本の勉強も始めます。そのときに、業者選定のときにこういうスケジュールの中で、こういうことをやってくれるような業者が好ましいと、こういうことをやってほしいという意見をまとめて、まずそこは出しておくというところはできようかなと思います。

なので、こういうスケジュールの中で考え方を聞いて取組をしてくれるとうれしいというのは出す方向で行きますか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 それでは、まず方向として、どういう取組をしてもらうか、内容は置いておいて手法のところになろうかと思います。

手法でこういう手法を取り入れてほしいという要望を早めにまとめておいて、その後また事例の調査、研究等、基本知識を深めていく作業をしたいと思います。

よろしいですか、それで。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小田上委員長 では、次回は質疑応答等やっていく時間とします。

6月は、しっかりいろいろつくるものがありますんで、定例会期中なので大変だとは思いますが、7月は議会報告会を控えております。

もし、可能性があるとして視察に行くのであれば、8月かなというふうな考えも若干よぎってます。

なので、スケジュール感は大切にしていきたいと思います。

なので、次回は質疑応答をします、執行部との。

スケジュールを決めます、固定させます。

次回、月1回だとしんどいかもしいので、会期の前に1回か、もしかしたら議会運営委員会の後にやりましょうとかそういうことになるかもしれませんが、そのような流れで2回ぐらいを想定しておいて、実際どう進めていくかというのを固めていけたらと思います。

よろしいですか。何か不明な点があれば。

副委員長。

○細川委員 今後、今の委員長のスケジュールに沿って、みんなで協議をして調査するんですが、最終的に、道の駅に関する議会からの思いを執行部に提出する辺りが1つの目標になると思うんですけど、委員会として合意形成をしていくという認識を持っていて大丈夫ですか。

それぞれが思ったことを執行部に上げるんじゃなくて、委員会としてはみんなでこれがいいよねということで意見をまとめていくという考え方で大丈夫ですか。

○小田上委員長 2パターンあると思います。

この中で出たものを全部を羅列して、箇条書にしてこれ取り入れてくださいというパターンと、この中で合意形成をして、やはりこれは必要だよねという意見に至りましたというものを提案する。

どちらがいいかです。

重みというか、しっかり考え抜かれて必要だというふうになったんだとこちらから提案して強くお願いできるのは、やはりしっかり取りまとめて合意形成をしてというところは1つ必要なのかなと思います。

それが、やっぱり特別委員会として参加していただいている委員の皆さんの意見をまとめましたということになると思いますんで、個別のことで細かいことを主張するというのはいろんなところでできると思うんですね。

なので、一般質問で個人的にこれが欲しいと思ってるというところであれば、何かいろんなタイミングであろうと思いますが、この委員会としての意見というふうになれば、合意形成をしていかないと難しいんじゃないかなと感じるんですが、いかがですか。

意見があれば伺いますよ。

中野委員。

○中野委員 私も合意形成すべきだと思います。

ただ、やっぱり任期は来年までですけど、この事業自体は継続して行うものだと思いますので、個人の見解、個人の思いというのはそれ以降でもお伝えする機会というのはあると思いますので、この特別委員会の役割としては、合意形成したものを1つお示しするところだと私は思います。

以上です。

○小田上委員長 合意形成でという声ありますが、いかがですか。

何項目になるか分かりません。一致するものが1つしかなければ、1つになる可能性もありますし、10個一致すれば欲しいねということでできようと思います。

なので、御協力いただいて。

いろいろ活発な意見出していただくというのが必要だと思いますので、よろしくお願いします。

日程 1 を終了いたしますが、よろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 以上で、日程 1 は終了いたします。

日程 2、その他です。

次回、いつにするかというところですが、ちょっと今日出た質問をまとめる作業等もして、質問を決めたいと思います。

5月21日を第 1 候補、17日を第 2 候補としてよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 すみません、17日は議長と総務文教委員長がほかの審議会がありますので、決定しましたら通知を送らせていただきます。よろしくお願いいたします。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 それまでに、宿題。

ちょっと一月空きますんで、今日いろいろ御提示いただいた P F I のことだったり、道の駅の事例だったり、道の駅だけじゃなくてもいいので、この視察どうだろうとか、この運営の方法いいんじゃないかとか、あとはワークショップの方法とかでもいいと思います。何かこういうもの、資料読んでおいてほしいとか、勉強できたらいいんじゃないかというものの集める作業をまずしていただけたらなと思います。

それが、スケジュールで行くと 6 月以降の勉強に生かされるかなと思いますので、よろしくお願いします。

あとは、プロポーザルの業者選定。スケジュール感、手法ですね。こういう手法をという意見も持っておいていただけたらと思います。

よろしいですかね。

なるべく早めに、質問と今日のまとめをサイドブックに上げますので、上げた際にはメールで通知をさせていただきます。

その他、何かございますか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○小田上委員長 以上で小方まちづくり特別委員会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

12時09分 閉会